

合法無抵抗と標榜し、無産大衆の闘争に対抗せんとすべし

日本労働農民党の統一と統一戦線

日本労働農民党の統一と統一戦線

中間党（所謂日本労働農民党）結成及対下開する声明書

現在わが国に於ける資本家階級は其必然的没落過程としての帝國主義時代に直面し、全無産階級に対する極端なる積極的攻勢に轉じて来た。労働農民党は實にかゝる形勢に直面せる無産階級戦線の統一結成の必要から生れたものである。従つて我々はあらゆる犠牲を拂つて、労働者農民の單一無産政党としての労働農民党の結成組織に當つて来た。

然るにかゝる全無産大衆の要望の下に生れたる労働者農民の統一戦線は日本農民党、関西民衆党、社会民衆党等の組織運動によつて屢々妨害されんとしたりであつたが、今又、麻生、望月氏等によつて、日本労働農民党の中間党が組織せらるゝに及び、我々が階級戦線は更に混乱を加へた。此の日本労働農民党は、日本労働総同盟の支配者たる西尾、松岡等の余りにも露骨なる反動化に對して反對する処の「正義派」が日本農民組合内の一都幹部と策應し、茲にその成立の運命に至つたものであつて、彼等も亦、階級的精神は保有すべき事を言明してゐる。

然し乍ら、全労働大衆の共同戦線党として生れたる労働農民党は、曩に及、日本農民党と抗争し、近くは小ブルジョアの社会民衆党と抗争し、今や漸く、全階級的政治闘争への第一歩を踏み出した。

かゝる闘争の過程に於ける我々の任務は、日和見主義的及軌的右翼的政を完全に克服することであり、之をなすべからず、之無くしては我々の全階級的展開はあり得ない。